

奈良・人と自然の会

森林保護を考える I

川井 秀夫

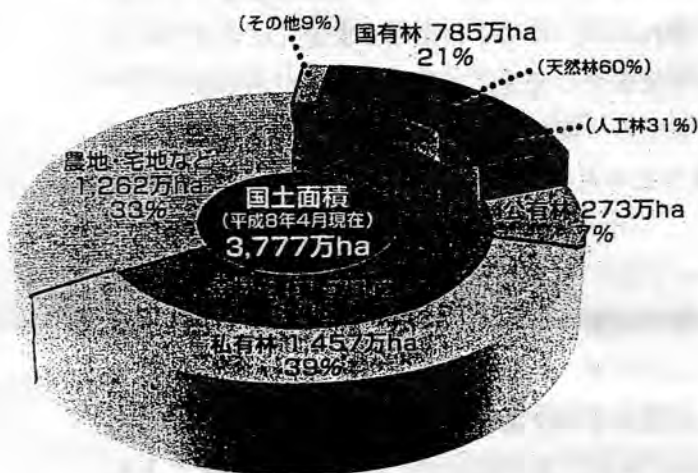
環境問題は地球規模の問題を含め多岐に亙るが、色々な相関を考えていくと、森林の保全・更生が最大のテーマと思えてくる。

何故ならば森は ① 生命の源である水の貯蔵庫である ② CO₂削減の自然浄化機能をもつ（削減義務 6%の内 3.9%が吸収源として算定される）③ 生物多様性を育む ④ 洪水・旱魃・土砂崩壊・防風・等 自然災害の防止。灌漑による里山・農業の保全育成。土壌の富栄養化による流水の漁業環境の保持。⑤ 生活環境における癒し 等々である。

また地球規模で考えれば、乱伐・皆伐（乾燥化による山火事の多発等）による森林の喪失は気候変動をもたらし、砂漠化が進み、自然循環が破壊される恐れすら危惧される。

一例を挙げれば中国からくる黄砂は、毛沢東時代の「大躍進政策」による広域な森林の伐採による喪失が原因とされている。

日本の森林は下図に示す如く国土の67%を形成し、世界有数の森林大国であり、その整備維持管理には、林業・農漁業・環境・災害 等 様々な論議はあるものの、中長期的な国土政策が喫緊の課題である。



国有林とは

明治維新の頃、藩有林、社寺有林、所有が明確でない森林を継承して成立しました。それ以降、国有林として維持する必要のない森林は売り払い民有林の中の重要な保安林は買い入れしてきました。現在の765haは、このような経過を経てきました。

今、当会において、近畿中国森林管理局の許諾を得て、奈良 忍辱山（円成寺近く）の国有林 1.5haの人工針葉樹林を間伐により整備作業を行っている。

上図の分布領域からすれば、太平洋に一滴の雫を落とす様なものだが、我々の小さな活動が行政を覚醒させ、一般市民の意識改革の端緒になればと淡い期待を抱き、樹齢5年（1年は10年）十数米の大木を伐る快感に酔ひ、将来 林床に下草が生え、灌木が育ち広葉樹が育って混雑林を形成し、鳥が啼き、小動物が駆ける豊かな生態系の水々しい空間を夢みている。（我々の寿命では夢が夢に終わるかも）

また、いこま棚田クラブの面々と、援農による棚田再生整備も、農業の衰退、景観の復活、里山の保全を目指し、心の震えを感じながら快汗を流している。

読者の方も、この素晴らしい緑の空間に遊び心でご参加ください。

次回はもう少し具体的に、森林のもつ重要性をお話したいと思います。

カワセミ

長野 晃



初期のウォッチャーにとっての一番人気。このトリに魅せられてバードウォッチングを初めた方も少なくないことでしょう。漢字では翡翠と書きますがまさに鮮やかな翡翠色がよく目立ちます。ただし中国では「翡」がヤマショウビンで「翠」がカワセミだそうです。

カワセミは私たちシルバー世代の少年時代には水のきれいなところにしかいなかった（というよりどこの水もきれいだった）のですが、近年はこちらが気の毒に思うほど汚れた川や池でも普通に見られます。カワセミは高度成長期の60年代～70年代にかけて環境汚染が進んだ都市部から一時姿を消しましたが、80年代になって再び戻ってきたような記憶があります。理由はよく分りませんが、唐沢孝一著「都市鳥ウォッチング」はカワセミが予想外に環境汚染に対応力があつたこと、都市部でコンクリート化した人工河川に適応した魚類が増えたことを挙げています。

近くの唐招提寺・秋篠川・四条(養魚)池を結ぶ地域にも番がずっと住み着いています。特に寺の境内の溜池は立ち入り禁止区域のため外から覗くしかありませんが、水が汚く淀んで木の葉や枝が底に堆積しており巣穴を掘るような土手もあります。にもかかわらず毎年その池の付近で繁殖している模様で、ジャジャジャという蟬のような雛の鳴き声が聞こえます。どこに巣をつくっているのか何時か突き止めたいと思っていますが、排水パイプなどに営巣した記録もありますので案外意外なところに巣を造っているかもしれません。

英名の **kingfisher** が表す通り魚捕りの王様でもあります。木の枝や水中から突き出た杭、土手などから狙いをつけてダイビング、捕獲した魚を頭から丸呑みにするところは少し忍耐強く観察すれば目撃できます。魚が暴れれば、口にくわえたまま足元に叩きつけて弱らせる場面にも遭遇できます。近年では映像技術の発達によりカワセミが木の枝からダイビングし、水中で魚を捕らえて枝に戻るまでの一部始終をテレビで見ることもしばしばですが、「野生の神秘」的な部分にまであまり立ち入ってほしくないなという気もしないではありません。

ところで、カワセミ類の足は合趾足といって前の3本の指が根元で癒着しているため平らな地面などに降りることはできず、木の枝や角張ったところのある護岸ブロックなど指がしっかりかかるところにしか止まれないようです。加茂川の護岸ブロックに止まったカワセミがごそごそ身体を動かしながら向きを変えるのを見たことがあります。これは合趾足であるが故の動きでしょう。また、面白いことに、足が疲れてくると腰を下ろすこともあるそうです。

日本野鳥の会発行の「野鳥」誌によると、カワセミはかなり正確に1時間毎に餌を捕るそうです。いちど適当な大きさの魚を捕ったら、その後1時間ほどはダイビングしないということのようです。雛がいる場合は、一サイクルで自分と雛の数だけの魚を捕ることになり、ダイビングを観察することにより雛の数が分ります。8匹捕ったら、雛は7匹というわけです。カワセミは米州にはいませんがアジア、欧州に広く分布し、英国では **living jewel** (生きた宝石) と呼ばれています。日本人が翡翠と名付けたのと同じ感覚ですね。



フサザクラ

4 月度例会「竜鎮溪谷・深谷川から室生寺」に参加して

吉村 さつき

あいにくの雨模様と近鉄電車の遅れが重なってか参加者男2名、女4名の少人数の観察会となりました。

室生大野口から出発してすぐの大野寺では枝垂れ桜が見事に咲いていました。川向こうの磨崖仏は雨にぬれて線刻がくっきりと浮かび、自然と手を合わせてしまうほどでした。宇陀川沿いに歩くとカキドウシ、タチツボスミレ、アケビの花等が咲いていました。いつも見ているスギナのはかまが葉である事を教えていただきびっくりしました。室生ダムに着くとなぜかプランターに造花が一杯挿してあり、景色にそぐわずがっかりしました。

竜鎮溪谷の入り口となる竜鎮橋を渡り、深谷川に沿って進みます。心配していた水量も多くなく滝つぼは、丸く滑らかに削られており甌穴と呼ぶ事を知りました。静寂な森の中からアカゲラ、ツツドリ、ヤブサメ、ウグイス、オオルリなど多くの鳥の声が聞こえてきました。なかなか姿を捉えることができず、中でもオオルリのお話を伺って図鑑でなく本物を見たいと思いました。ヤマコウバシ、キジョラン、ジャケツイバラ、フサザクラ、キブシ、アブラチャン等など・・・フサザクラの花は、両性化で花弁もがく片もなく赤褐色の雄しべと雌しべが多数あると教えていただきましたが、花のあとが少し残っているだけで見る事ができず残念でした。カゴノキの木肌は鹿の子模様になっていて上手く名前がつけられるのだなと感心しました。

溪谷を抜け少し行くと腰折地蔵があり、ただいまお堂が建立中で10月頃には出来上がるとか・・・

美しい景色を眺めながら歩くと集落の中腹にひっそり佇む古寺、枝垂れ桜の隠れたスポット西光寺に着きます。名前を「城之山桜」といい樹齢数百年との事。周囲の景観と一体化した寺の風景は素朴ながらも素晴らしいものでした。室生寺までの道には、ジロボウエンゴサク、ニリンソウ、カテンソウ等可憐な花が咲いていました。

雨ニモマケズ・・・参加して本当によかったと思える観察会でした。沢山の資料も楽しく読ませていただきました。お世話くださった皆様有難うございました。

[実施日]平成17年4月20日(水) 小雨

[コース]室生口大野駅―室生ダム―竜鎮橋―深谷川(竜鎮川)溪谷―天王橋
―室生寺(バス停)

[参加者]6名：小田久美子・勝田緑・勝田均・福谷峯子・弓場厚治・吉村さつき

[担当]勝田均・小田久美子

第2回近畿自然歩道「下市花の里を楽しむ路」に参加して

城戸加代子



古市から乗った吉野行き急行は、橿原神宮から各駅停車になった。岡寺、飛鳥を過ぎると遠足に出かけるにぎやかな小学生の一団も降りてしまい乗客は一車両に3、4人。電車は緑を分け入るように走り、ようやく吉野に着いた。天気予報では昼過ぎまではもちそうにいていたが、はや、雲行きはあやしくなってきた。歩き出してすぐキセキレイのつがいがつタン屋根の上において私たちがずっと見ているのにすこしも逃げていかなかったのが、オスとメスの違いをしっかりと観察することができた。右手の崖を見ながら行くと、マルバウツギ（これは大和川をこえて北にはいないそう）、マユミの花、ヤブマオウ、ウノハナ、クサノオウ（茎の中も真黄色）、ロウバイの実、オドリコソウなどをみることができた。そして下見をして下さったときにまた話した方が地元の大淀高校の元校長先生であつたそうで、その方が待っていて下さつて橋の下で講義をしていただいた。持統天皇と修験道とのかかわりなど興味深く、先生は話したいことがやまとおりのようだったが、折悪しく雨が激しくなり大体の所で打ち切り、地下室をお借りした。それで雨にぬれずにお弁当を食べることができた。また、川を下にみながら下流の下市をめざして歩く。キクの栽培をしているところを通り、トンビが何羽もおりてきているのに出合った。（トンビって大きい）。地学にくだしいかたがいらして、いろいろ説明して下さったのにメモをとらなかったので忘れてしまった。ごめんなさい。雨には降られたけれど、楽しい一日でした。ありがとうございました。

近畿自然歩道（まほろばの道）紀行

第2回 ・ 吉野 ～ 下市へ（下市・花の里）

日 時 平成17年5月12日（木） 下見、4月11日（月）

近鉄吉野駅10:00 ～ 下市口駅15:25

行 程 吉野駅 ～ 吉野神宮駅 ～ 吉野大橋 ～ 美吉野橋 ～ 新椿橋 ～ 岡峰郵便局 ～ 千石橋
～ 下市口。（距離 約8.5 km）

天 候 曇り小雨 後 曇り 出発時気温18℃

参加者 19名

・有本 倍美 ・市村 勝也・岩田 和子・川勝 孝雄・勝田 緑 ・木村 きぬ子・城戸 加代子
・斎藤 和子 ・新賀 功子・高橋 弘志・西 健吉・林 令子・樋口 善雄・福谷 零子
・水田 美美子・山田 洋子・弓場 厚次・弓場 京子・吉村 さつき

単独行（日程の都合により） 4月30日（土） 2名 ・砂山 昭子・志水 明子

担 当 樋口 善雄。 川勝 孝雄。 林 令子。

考 察

吉野駅の西側外構は山肌になっている。下車したとたんに目に飛びこんで来たのが、この山肌に咲く「シャガ」の花である。それだけ里とは標高が高いのだらう。出発すると いきなり「キセキレイ」の尾振りダンスの歓迎に酔わされた。舗装道路なのだが、さすがは吉野！山地で見れる野趣に富んだ植物が多い。野草名等は別紙に記録したので此处では省略するが、一例を挙げれば「マルバウツギ」は、その代表格であろうか？道路に沿った山肌に咲いていたのである。出発後しばらくしてポツリと雨が来た。18時頃から雨との予報は外れ、雨天対応の不十分な人には無情の雨となる。

「美吉野橋」の橋下で、元県立大淀高校校長・射場博一先生の蘊蓄に唸らされた。35分程度の話ということで、最初をお願いしたのだが、50分経過した頃に一段落となった。

折しも雨脚きつくなりぬれば、射場先生宅の地下作業場を昼食会場とさせて戴いたが、ここでも吉野にまつわる話が尽きない。曰く吉野川は行者の縁のみならず、渡り鳥の休息地であり、旦っては名古屋空襲機の飛来目標であり、現在でも関西空港への飛来目標であるetc ………。

それにしても、南朝を正朝とし、南朝にまつわる歴史小説で断片的な記憶しか持たない戦中派の吾人には、万葉人の話から天武・持統天皇、引いては藤原の道長が出現するに及んで、時代系列が明日香の芋峠道の様に、一本の筋となって来た。意義深い史話を拝聴した。

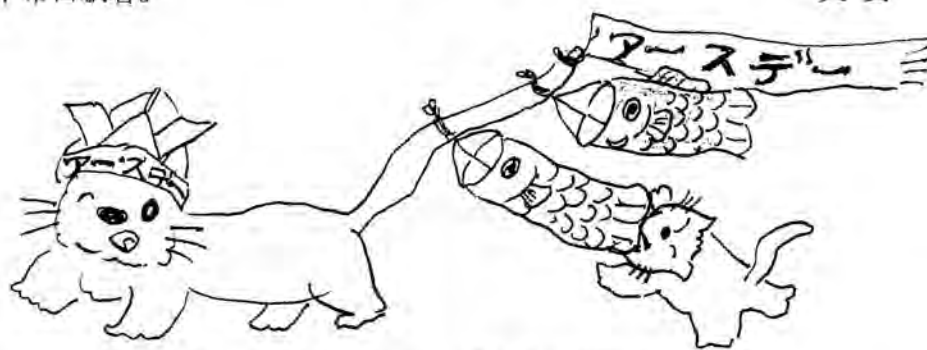
射場先生の「聞く人の気をそらさせない」話術も、又、イベントに出動する我々には、大いに得る所が有り勉強になった。

奥六田を過ぎた辺りの吉野川瀬を見下す地点で、高橋さんが地学の蘊蓄を傾けてくれた。25,000年昔の話で気が遠くなるが、地殻の変動は地球誕生に逆のぼるのだから、正に自然進化の話である。野々熊付近から雨が気にならなくなった。

この頃、有本さんと西さんの背に「ガクアジサイ」の花が揺れていた。有本さんが一句、「背囊の《隅田の花火》揺らしけり」。若輩ながら小生も一句、「五月雨の 晴れ間に渉る 千石橋」最後に「アンケート」として参加者に感想を頂戴した。約80%の方が射場先生の講話に魅了されていた。今回はまさに「歴史と文化・人と自然」の交雑が織りなす物語の感を禁じ得なかった。

全員無事下市口駅着。

文責 樋口



アースデー参加報告

去る4月24日（日）。既報の様に例年通りの「アースデー」が施行され、当会より9名が参加しました。内容は、大和川クリーン作戦と、自然工作の指導です。暑いぐらいの好天に恵まれ、翌朝の朝日新聞・奈良版に記載された通りの良い結果でした。

午前 10時 開始 大和川クリーン作戦
午前 11時 高石 ともや、トーク&フォク
木工作体験指導
午後 1時 昼食 （主催者よりの振る舞いカレー）

※ 主催者より懇ろな謝意を頂戴しました。

参加者

岩田 和子 川井 秀夫 川勝 孝雄 倉田 晃 斎藤 和子 坂口 正彦
樋口 善雄 弓場 厚次 吉村さつき 豊島 すみ子(本部誌)

文責 樋口

カッコウのなかまの托卵

小田 久美子

日本で繁殖するカッコウの仲間は4種類、昔から誌にも歌にもよく登場して「カッコウ、カッコウ！」と鳴くからと名付けられた「カッコウ」は鳴き声と共にあまりに有名です。少し高い山に登るとその声を聴くこともあります。なかなか姿は見る事が出来ません。同じ頃やって来てこれも鳴き声から名付けられた「ホトトギス」は意外に住宅間近の林で「ホトトギス！」と鳴くのが聞かれますよ、気をつけて聞いてみて下さい。この日本の4種の仲間は特定の種類の小鳥が巣を空けているすきに、その鳥の卵を1個取り出しかわりに自分の卵を1個産み込む「托卵」という子育てを放棄したズボラ(?)な鳥たちです。托卵した卵の方が先に孵り生まれたばかりのヒナは赤裸で目も開かないうちから、親の留守の間に宿主の卵を1個づつ背中に乗せ巣の外へ放り出します。いつか「神々の詩」という番組でその一部始終を観たことがあります。落とす方も落とされるほうも一進一退の攻防ですがある時間が来ると「落とす」というタイマーが切れて狭い巣の中で一緒に育つ例もあるようなのでどちらも皆がんばれ！と手に汗握ってその犯罪(?)現場を見ていました。ヒナの大きく開けた口の中の赤いのが育雛本能を刺激するのだそうですが、それにしても日に日に自分より大きくなるわが子に親は何の疑問も湧かさないのでしょうか。実は「托卵」は、する方にとってもそれほど楽なことではないようです。托卵鳥は宿主により似た卵を産まなければいけないし、宿主は対抗手段として卵を見わける能力を高めてその卵を捨てたり、その鳥を撃退するものが現れます。カッコウ類は夜の体温が昼間よりも10度低いので、自分で卵を温められないと云われ、お人いえお鳥良しの相手を探すのは一苦労のようです。それにしても昔の人は自然を良く見ていました。「目に青葉 山ホトトギス初かつお」このお話が届く頃にはその戦いにも結果が出ているのでしょうか。托卵される鳥はホオジロ、ヨシキリ類、モズ、ウグイス、センダイムシクイ等のムシクイ類、オオルリ、コルリ、キビタキ、ルリビタキ、最近東日本ではオナガも狙われているようです。「托卵の習性」はスズメやカモ、ムクドリ等にも時々みられ、同じ仲間同士で子育てを押し付け合うことがあるようです。



仮親の小鳥の留守中に卵を産むときをうかがうこの姿は「バサバサ」と呼ばれる



地域情報



* 1, 2行でも結構です
身近な記事を送ってください。



5/18 夕方5時46分頃ホトトギスの初鳴き。自宅の西にある貝吹き山からです
去年は23日でした。5日ほど早いですが、卵の花が咲き、田に水が引か
れているって分かるんでしょうか。 樫原 (齋藤)

5/20 斑鳩でホトトギスの初鳴き

(勝田)



【奈良忍辱山森林整備作業】

〈場 所〉 奈良忍辱山国有林（集合場所より東海自然歩道を奈良方面へ約10分
淀川、木津川、白砂川の源流域）

〈集合場所〉 忍辱山円成寺駐車場（バス停 円成寺口と忍辱山円成寺の間）

〈日 時〉 6月 4日（土） 10時00分 第27回

6月16日（木） 10時30分 第28回

7月 6日（水） 10時30分 第29回

7月17日（日） 9時30分 第30回

〈終了予定〉 午後3時頃

【天 候】 午前6時 奈良県北西部に警報が発表されている場合は中止いたします

〈交 通〉 奈良交通バス 平日〔月ヶ瀬温泉行き〕 土、日〔柳生行き〕

JR奈良駅③番乗り場 近鉄奈良駅④番乗り場 忍辱山円成寺

平日 8:15 8:18 8:51

平日 9:30 9:33 10:06

6/4 9:00 9:03 9:36

7/17 8:26 8:29 9:02

臨時バス お問い合わせ 奈良交通 ☎0742(20)3100

〈持ち物〉 ヘルメット（防災用）、手袋、スバツ、鋸、防護眼鏡、弁当、長袖着用。

ヘルメット、防護眼鏡、鋸等の用具は当会にて多少は用意しております。

《未経験者には基本より指導いたしますのでお気軽に。森林を楽しみましょう》

〈連絡先〉 弓場厚次

阿部和生

寺田正博

参加者、実施報告

4月13日 晴れ 9名

小森、中畑、福島昭（新）、明石嘉一郎（新）、樋口、川井、弓場、阿部、寺田

好天に恵まれ作業捗る。

4月29日 晴れ 9名

勝田（均）、中畑、下村、樋口、小森、大石、明石、弓場、寺田。

奈良森林事務所より、現地指導にご来場を受ける。

森林事務所より 鋸3本、ロープ3本の貸与を受ける。大事に使用しましょう。

5月6日 小雨 3名

中畑、弓場、寺田。

小雨のため、間伐木のテープを巻き、午前の作業で終了。

5月22日 時々小雨 5名

小森、中畑、明石、弓場、寺田。

事故もなく順調に作業は進んでいます。

今後とも皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

未経験のかたも見学（視察）でも結構ですのご来場下さい。

近くには古刹「忍辱山 円成寺」があります。素晴らしい寺院です。お参りください

〔6月度例会〕

シャクナゲの稲村ヶ岳(1,726m)

【実施要項】

稲村ヶ岳は、もと山上ヶ岳と同様に女人禁制の山が開放され、女人大峰として亜高山植物が花を添え、「花の百名山」にも名を連ね、オオヤマレンゲもそろそろ開花の準備を始めます。吉野・天川村洞川温泉で一番の老舗旅館に泊り稲村ヶ岳を巡ります。5月25日現在 21名のご参加の申込みです。

〈日 時〉 : 6月12日(日)～13日(月) [一泊2日]

〈集 合〉 : 近鉄下市口駅 午前10時10分 (時間厳守)

〈行 程〉 : 宿 泊 : 宿 花屋徳兵衛 TEL: 07476-4-0878

6月12日(日) 下市口～洞川温泉…洞川自然研究道…エコミュージアム…宿 花屋

6月13日(月) 宿 花屋…登山口…法力峠…稲村ヶ岳…レンゲ辻…洞川温泉～下市口

〈交 通〉 : 西大寺〔檀原神宮前行各停〕8:46…檀原神宮前着9:25乗換

・ 近鉄阿部野橋〔吉野行急行〕8:50…檀原神宮前9:31…下市口10:04

* 近鉄電車乗車駅から『天の川探勝きっぷ』のセットを利用されますと15%OFFになります。

〔セットは乗車駅から近鉄電車で下市口、下市口から奈良交通バスで洞川温泉までです。〕

☆ 洞川温泉に直行される方は洞川温泉バス停にAm11:40に集合下さい。

〈装 備〉 : 弁当 飲物 雨具 着替え トレッキング・シューズ

〈費 用〉 : 13,000円(宿泊費等)

〈申 込 み〉 : 先着25名 弓場厚

にて締切: 5月31日

〈担 当〉

寺田正博

勝田 均

弓場厚次

★ 5月24日Am10:05 5月度近畿自然歩道に参加され、FAXにて参加申込を頂いた方ご連絡さい。

近畿自然歩道(まほろばの路)

第3回「大淀フルーツの里」をたずねるみち

20世紀梨の生産で有名な大阿太の台地を縦断するコース。シーズン中には現地直売所の露店が並びます。目の前に金剛山や葛城山の眺望が開ける初夏の高原を歩きませんか。

日 時: 6月18日(土) 小雨決行

集 合: 近鉄南大阪線 下市口駅前

交 通: 阿部野橋 ～ 下市口

8:50 ～ 10:02

大和西大寺 ～ 檀原神宮前 ～ 下市口

8:46～9:25 9:31～10:02

西阿田(バス) — 下市口

16:10 — 16:23 16:55 (阿部野橋行き乗車)

コース: 下市口・・・大阿太高原 梨畑・・・大野新田・・・阿田明神社・・・西阿田—

下市口(約8.2km 2時間半のコース)

担 当: 川井 秀夫

豊島 すみ子

〈7月の予定〉

7月度例会「生駒山Ⅲ 樹林観察」

〔日程〕 7月14日(木)

〔担当〕 古川祐司

第4回近畿自然歩道・まほろばの路

[コース名] 栄山寺と花の古寺を訪ねる路

[日程] 7月20日(水)

[担当] 寺田正博

※いずれも詳細は機関紙第42号<7月号>でお知らせします。

協力活動「いこま棚田クラブ」6月、7月活動日 ご案内

活動日 : 6/5 [日], 6/13 (月), 6/19 (日), 6/27 (月)

7/3 (日), 7/11(月), 7/17(日), 7/25 (月), 7/31 (日)

西畑町自治会館より眺める、向かいの山は、「山笑う」新春から「山滴る」夏に変わり素晴らしい眺めです。6月は、サツマイモ植え付け、19日は、「都島小」の体験学習会、今年もしっかり伸びてきた棚田の草刈、大豆の直播、花壇の手入れ、等など。やってみたいこと、体力とも相談の上 挑戦ください。ご参加お待ちしております。

集合場所：近鉄生駒駅下車 南口側ケーブル駅西隣セブンイレブン前

集合時間：9時 現地までタクシー他 分乗で移動

持 物 : 弁当(第三日曜日は炊き出しあり) 作業スタイル

事務局 : 大寺道代



ボランティア活動保険について

あつてはならない事、もし遭遇したらそれを補償するのが保険ですが、私達が加入しているボランティア保険とはどんな内容なのでしょうか。以下簡単にまとめますと、

契約形態：当会「奈良・人と自然の会」が加入申込者となり、会員ひとりひとりを被保険者として締結した団体契約保険です。入会(会費納入で手続き)すると安心楽々。

掛け金 : ひとり 300 円

扱い店 : 社会福祉法人奈良県社会福祉協議会

保険会社：日本興亜損害保険株式会社

補償期間：4月1日から翌年3月31日午後12時までの1年間で、特に始まりは、扱い店が所定の手続きと掛け金の入金を確認した翌日からとなります。

補償内容：活動中の事故によるケガや賠償保険で、学習会や会議、移動途中、日射病や熱射病の熱中症、途上にあった交通事故も含みます。入院1日；6,200円 通院1日；4,000円 死亡；1,161.9万円 後遺障害；1,161.9万円 賠償事故5億円。

対象 : 日本国内における「自発的な意思に基づき他人や社会に貢献する無償のボランティア活動」を指します。従って対象地区は奈良県に限定されず、国内全域で、かつ「奈良・人と自然の会」の企画された行事のみならず、会を離れて、個人が実施した上記の括弧内の活動をも含みます。

非対象 : 自動車による事故は、加入者自身の障害のみが補償されますが、その他はすべて自動車保険の対象。野焼きや山焼き、チェーンソー使用も(免責事項)。頸部症候群や腰痛も非対象です。

その他 : グループ全体に起因する賠償責任は支払れない。あくまで一人一人の個人です。

(平成17年5月6日再掲 文責 大石門三)

第4回通常総会議事録（平成17年度）

日時：平成17年5月21日（土） 午前10時より

場所：奈良市黒髪山キャンプフィールド 野外集会所

16年度会員総数：93名、出席者数：17名、委任状：70、よって会は成立。

司会：豊島 議長：西 書記：大石

会長挨拶

今年度は例会、近畿自然歩道、社会貢献事業などの充実と掘り下げを計り、100名に達する会員の親睦を図っていききたい。

議題

- | | |
|---------------|----------------|
| (1) 第1号議案（別紙） | 第4期事業報告、会計収支報告 |
| (2) 第2号議案（別紙） | 第5期事業予定、収支予算案 |
| (3) 第3号議案（別紙） | 会則一部改定 |
- 議決：全て全会一致で成立した。

平成17年5月定例幹事会報告

平成17年5月6日（金） 於 奈良県女性センター

【報告事項】

- (1) 会員動向、会計報告 会員：84名 現金残：221,385円
- (2) 4月度例会 終日雨で参加者6名。
- (3) 近畿自然歩道 小雨後曇り、19名の参加者。
- (4) 森林整備作業
4/13；9名、4/29；9名作業人数多く、はかどる。バス時刻改定により、集合時間変更、平日；10：30 土、日、祝日；10：00。
- (5) アースデーINなら
総参加者数；600名、当会工作ブース見学者；120名。大和川クリーン作戦実施で大型トラックに2杯のゴミ出る。
- (6) いこま棚田クラブ 散策路の山桜未だ咲かず。
- (7) ・安全対策
実施日天候については、今までどおり警報以外は実施（小雨決行）。但し、今後は、名誉有る中止も選択肢の中に入れる（安全対策のため、担当幹事決定）。
・開始時点検事項
参加者名簿記入、準備体操、装備点検、リュックは担いで両手フリー、自己責任の確認と相互注意の喚起
・保険内容の機関紙への再掲

【討議事項】

- (1) 通常総会 役員補充；会長一任 司会；豊島 議長；西健吉 書記；阿部
- (2) 助成金申請 ならコープ環境保全活動助成申請書、連休明け申請。担当；阿部。
- (3) 救急法講習会 日本赤十字社実施、詳細は幹事まで。
- (4) 行事確認
例会；6/12～6/13 稲村ヶ岳 7/14 生駒山Ⅲ
近畿自然歩道；6/18 大淀フルーツの里 7/20 栄山寺
森林整備作業；6/4 6/16 7/6 7/17

編集担当：勝田 均

Tel&Fax：

【当会の行事における傷害事故等については個人負担とし、当会は賠償等一切の責任は負いません】

奈良・人と自然の会事務所

会長 川井 秀夫